

大雪の状況

津地方気象台発表資料から

三重県北中部

2月7日(金)			2月8日(土)		
9~12時	12~18時	18~24時	0時~6時	6~12時	12~24時

現在

警戒を要する期間

・日本付近は強い冬型の気圧配置となっており、三重県では、7日(金)夜から9日(日)頃にかけて、北部を中心に大雪となる見込み。

・特に7日(金)夜遅くから8日(土)夕方にかけて、雪雲が同じ所に流れ込んだ場合や予想より降雪が強まった場合、警報級の大雪となる可能性。

・雪雲の流れ込みの状況によっては北部以外の地域でも大雪となる所がある見込み。

一般ドライバー・荷主を含む物流業界の皆さまへ

○命を守るため、大雪が予想される地域への**外出自粛（出控え）**、**運送日の調整**などのご協力をお願いします。

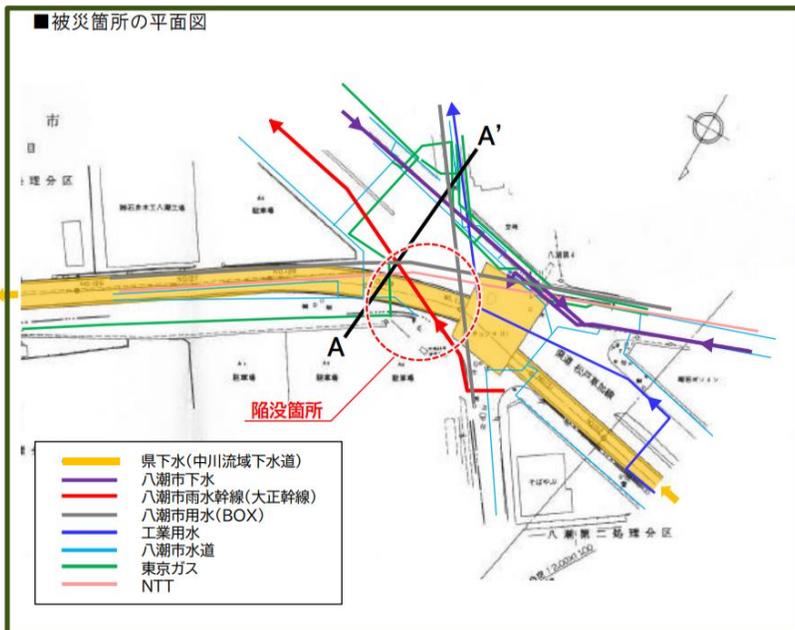
○やむをえず外出をされる場合は、**最新の気象情報・道路情報**を確認し、**冬用タイヤの装着**や**タイヤチェーンの装着（携行）**、**食料や水の携行**、**燃料の補給**をお願いします。

○交通規制情報は、ホームページ、**三重県県土整備部X（旧Twitter）**で発信



道路陥没の概要

- 発生日時：令和7年1月28日（火）
- 発生場所：八潮市中央一丁目地内

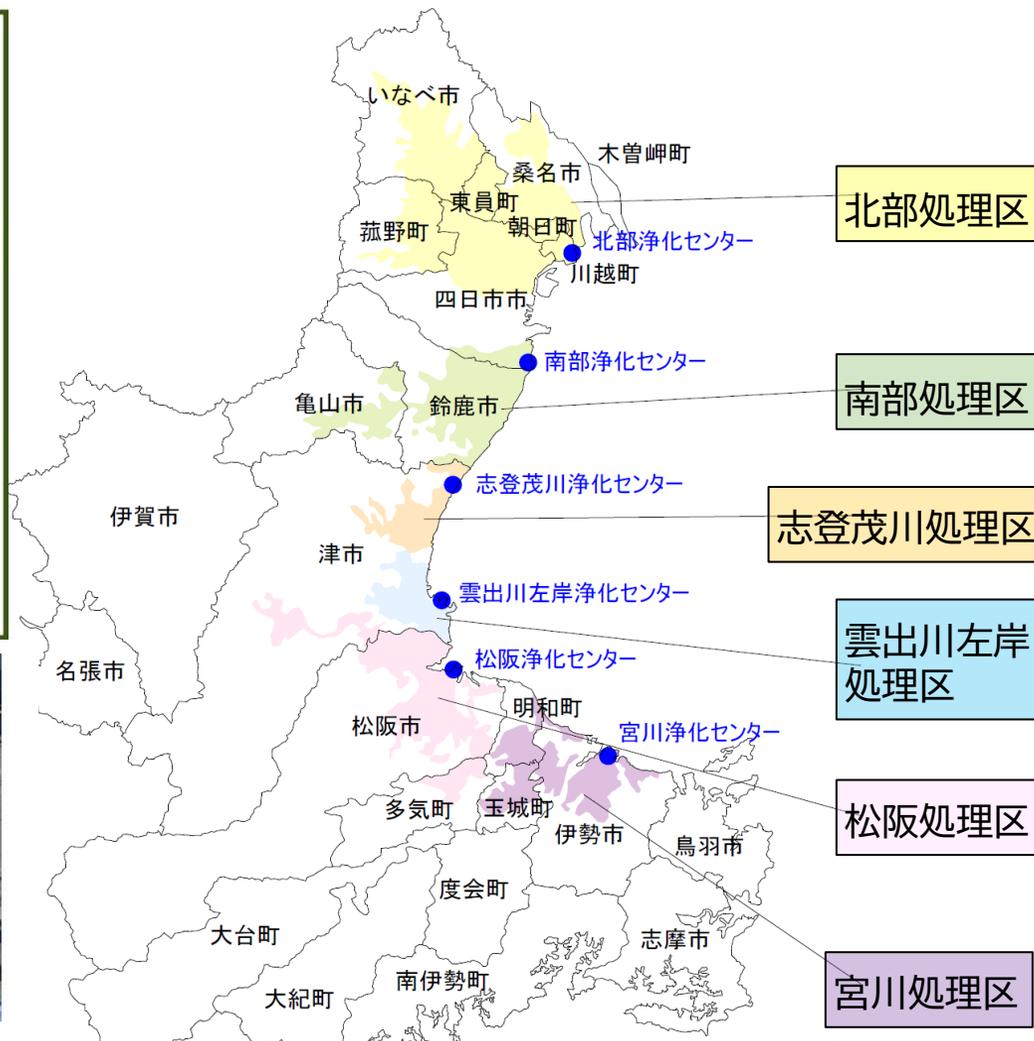


図面及び写真は埼玉県ホームページより引用

三重県流域下水道の概要

流域下水道は、都道府県が管理します。

三重県の流域下水道は、6つの処理区があります。



埼玉県と三重県の流域下水道施設の概要

	埼玉県	三重県	国緊急点検対象
流域名	中川流域下水道 <small>※道路陥没現場の下水処理区</small>	北勢沿岸流域下水道 (北部処理区) <small>※三重県内の流域下水道で 最大の口径が存在</small>	流域下水道
処理開始年度	昭和58(1983)年度 (41年経過)	昭和62(1987)年度 (37年経過)	—
日最大処理量	<u>613,200m³</u>	<u>165,800m³</u>	<u>300,000m³</u>
管口径	<u>4.75m</u>	<u>2.20m</u>	かつ <u>2.0m</u>

三重県の流域下水道は、埼玉県と比べ、日最大処理量、管口径ともに小さい

- ◆ 本県の流域下水道管路は、国土交通省から要請された緊急点検の対象に該当しない
- ◆ 三重県では独自に口径2m以上の下水道管路の緊急点検を実施

※国土交通省緊急点検要請（1月29日付通知）の対象施設
流域下水道で晴天時の日最大処理量が30万 m^3 以上の下水処理場に接続する口径2m以上の下水道管路

点検箇所

- ・流域 北勢沿岸流域下水道
- ・処理区 北部（口径2.2m、2m）
南部（口径2m）
- ・地域 北部 四日市市、桑名市、川越町
南部 四日市市、鈴鹿市
- ・管路延長 北部 全延長約96kmのうち約5km
南部 全延長約39kmのうち約2km

点検内容

点検日 : 2月4日～5日

点検内容: マンホール内部からの目視による点検



点検の様子

点検結果

点検した延長約7km

通常の経年劣化はあるものの、異常とまでは認められない

三重県
として初！

森林由来のJ-クレジットの
認証を受けました



「ゼロエミッションみえ」プロジェクト

- カーボンニュートラルの実現に向けた動きをチャンスととらえ、**県内の産業・経済の発展**につなげるため、6つの柱で取組を実施
- その一つの柱である林業等の活性化の取組において、県の管理する森林で、**スマート技術等を活用**した森林由来のJ-クレジットを創出する取組を実施

取組場所

三重県名張市

(森林面積:約223ha)

認証量

899 t-CO₂

(令和5年度分)



三重県
として初！

森林由来のJ-クレジットの
認証を受けました



CO2吸収源対策を契機とした林業等の活性化に向け

- 認証を受けたJ-クレジットは、**令和7年度から公募により販売**を予定
- プラットフォーム等を活用し、**企業に向けたPR**を行う

翌年度以降
も同量規模
を販売予定

プラットフォームにおけるマッチングイベントの開催

開催日時

令和7年3月13日(木) 13時00分から

実施場所

三重地方自治労働文化センター 大会議室

参加対象

カーボンのクレジットの活用・創出に関心のある企業、団体等

内 容

クレジット創出者と企業、創出検討者などのマッチング

ブルーカーボンの本格的普及
を見据えたマッチングも実施